

下記は 2021 年 4 月 8 日 (米国時間) に米国で配信したリリースの参考和訳です。

2021 年 4 月 8 日

バンク・オブ・アメリカ、2030 年までの 環境ビジネス・イニシアチブの目標額を 1 兆ドルに

2019 年の目標額 3,000 億ドルより大幅に増額

SDGs を広く推進するサステナブル・ファイナンスも含めた投融資は総額 1 兆 5,000 億ドルを目指す

バンク・オブ・アメリカは、持続可能な低炭素経済への移行を加速させるため、2030 年までに、当社の環境ビジネス・イニシアチブにおける、1 兆ドル規模のコミットメントを発表しました。このコミットメントは、世界各国でのビジネス活動において、持続可能な環境への移行及び社会的包摂の推進を支援するために、総額 1 兆 5,000 億ドル規模のサステナブル・ファイナンスを行う目標の根幹となります。

バンク・オブ・アメリカで ESG (環境・社会・ガバナンス)、サステナブル・ファイナンス、資本配分、公共政策を担当するアン・フィヌケーン副会長は、次のように述べています。「持続可能な低炭素経済への移行を進める上で、民間セクターは必要となる大規模な資本を投じる準備ができています。当社は持続可能な経済への移行を実現するため、融資、資金調達、アドバイザリー、投資関連サービスの提供や財務ソリューションの開発、またイノベーションの推進などを通じて、顧客と連携しながら当社のコミットメントを実現していきます。」

1 兆 5,000 億ドル規模のサステナブル・ファイナンスは、国連の持続可能な開発目標 (UN SDGs) に基づいて策定されており、米国のみならず世界各国で大きな変革を促進します。そのうち、1 兆ドルは気候変動に関する取組みのため、その他は、社会的包摂の推進、コミュニティ開発のための資金や手頃な価格の住宅、医療、教育の提供、および人種間やジェンダー間の平等を推進するための取組みに活用します。

バンク・オブ・アメリカの Sustainable Markets Committee の共同議長をフィヌケーンと共に務めるトム・モンタグ COO は、「当社は、融資、投資、金融市場活動を通じて、顧客と共に、持続可能性への移行実現を進め、金融システム全体にわたるプレイヤーを総動員して資本の流れをこれからも増加させます」と述べています。

環境ビジネス・イニシアチブ

今回の発表は、2019 年に当社が発表した[低炭素で持続可能なビジネス・イニシアチブにおける 3,000 億ドル規模のコミットメント](#)を 2030 年までに 1 兆ドル規模まで引き上げるものであり、当社の環境ビジネス・イニシアチブの一環です。このコミットメントは、各セクターにおける環境を重視した取組みへの移行を支援するもので、具体的にはエネルギー効率の向上、再生可能エネルギー、持続可能な交通、資源効率の向上、持続可能な水資源と農業、および林業の品質改善および公害管理対策などが挙げられます。当社では、2007 年に環境ビジネス・イニシアチブを開始して以来、低炭素で持続可能なビジネスを推進する活動にすでに 2,000 億ドル以上の投融資を行っており、クリーンエネルギーや発電、輸送、など環境を重視した取組みへの移行が重要な業界に、アセットベース貸出の拡大、税控除付き株式投資 (Tax Equity)、および資本調達活動を行っています。当社は本日の発表に先立ち、[2050 年までに温室効果ガス排出ネット・ゼロ](#)を達成する目標も最近発表しています。

サステナブル・ファイナンスにおける主なイノベーションと展開

フィスケーンとモンタグが共同議長を務める当社の Sustainable Markets Committee は、国連の持続可能な開発目標に合致した革新的な財務ソリューションを提供するため、全ビジネス・ラインが協働しています。当社のサステナブル・ファイナンスの取組みの主な実績は以下の通りです。

バンク・オブ・アメリカは、[グリーン](#)、ソーシャル、サステナビリティ・ボンドの発行体としてトップ、そして先駆的役割を果たしています。当社は新型コロナウイルスの医療現場を支援するため、2020 年に [10 億ドル規模の Corporate Social Bond](#) を発行しました。また、金融業界ではじめて、人種や経済的機会の平等、および環境の持続可能性に関する取組みを支援するために [20 億ドル規模の Equality Progress Sustainability Bond](#) を発行しました。当社は 2013 年以来、8 件のグリーン、ソーシャル、サステナビリティ・ボンドを自社として発行しており、総額は 98 億 5,000 万ドルに達しています。

- 世界の ESG 債市場において、また米国の地方自治体によるグリーン・ボンド市場において最大の引受会社である当社は、2013 年以来、225 社を超える顧客企業による 400 案件超の ESG 債を通じて、3,000 億ドル以上を調達し、顧客の持続可能ビジネスを支援しています。
- 2015 年以来、再生可能エネルギー分野への投融資では米国でトップとして、2020 年末の当社の再生可能エネルギー分野の税控除付き株式投資のポートフォリオは約 101 億ドルでした。米国の風力発電所および太陽光発電所のうち、当社による投資で開発された発電所の割合は全体の約 17% (33 ギガワット) に上ります。
- すべての顧客企業や機関投資家にカーボン・ニュートラルおよびネット・ゼロに関する助言を提供する業界のリーダーであると共に、世界各国における環境および社会的持続可能性を推進するための資金提供、資本市場、および M&A の分野におけるリーダーです。
- 手頃な価格の住宅を米国で提供するプロジェクトに、最大の投融資を行っている金融機関の一つであり、Community Development Financial Institutions (CDFI: コミュニティ開発を手がける金融機関) へ民間企業として最大規模の融資も行っています。

当社の ESG 関連の取組みのハイライトは、[Bank of America 2020 Annual Report](#) の 38 ページをご覧ください。

詳細情報は [2021 Proxy Statement](#) および www.bankofamerica.com/environment をご覧ください。

バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは、環境、社会、ガバナンス(ESG)を重視し、「責任ある成長」戦略の元に全てのステークホルダーがよりよい経済生活を実現できるよう支援しています。当社は、ESG 原則に基づき、8 つのビジネス・ラインを通じて世界経済の活性化を支援し、ESG への取組みにより、働きたい企業、投資したい企業、ビジネスパートナーにしたい企業としての信用と信頼を構築しています。また、従業員の多様性を尊重して違いを受け入れる職場環境の構築、責任ある製品およびサービスの提供、そして、世界各地の地域経済の発展の支援に積極的に取り組んでいます。さらに、地域社会、消費者、環境団体などの非営利団体や支援団体と強力なパートナーシップを築き、当社のネットワークや専門性を活用し、より大きな影響をもたらします。

###

報道関係者お問い合わせ先:

バンク・オブ・アメリカ 広報部

長谷川 万里子

03-6225-7176

mariko.hasegawa@bofa.com